

かしま

HOT 通信

6月号 Vol.377

令和6年(2024年)6月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室
■発行/社団法人 養生会
〒971-8143
福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ホームページ <https://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

スマートフォンをご利用の方は、
QRコードを読み取り、アクセスしてください。
PCサイトと同じ内容をご覧頂けます。



ご意見・ご感想は...
上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
かしま病院広報企画室まで
kouhou@kashima.jp

1 2 巻頭特集

令和6年度新入職員のご紹介!
「新入職員に聴きました」

3 「看護の日イベント」と
「喫茶いとち」を開催!

3 コラム ひんがら目(204)
「肺がん治療の診療連携
診療科間のコミュニケーションの大切さ」
呼吸器科 部長 山根 喜男

4 ようこそ家庭医療へ!
リハビリPOST
認定看護師による勉強会のご案内
かしま荘通信

キッズ医者かしま2024 参加者募集!!

かしま病院で医療体験してみませんか?

開催日時 **7月27日(土)**
9:00 ~ 12:00

開催場所 **かしま病院**

対象 **小学生**

募集人数 **親子15組**

参加費用 **550円**

6月24日(月)9時から参加申し込み受付を開始します。申し込み方法などの詳細については、かしま病院ホームページでご確認ください。



お問合せ: TEL 0246-58-8010 かしま病院 広報企画室 担当/蓮沼

巻頭特集

令和6年度新入職員(21名)のご紹介!

新入職員に聴きました

- ① 「言われて嬉しい言葉は?」
- ② 「先輩のどんなところに憧れる?」

伊谷 将吾さん



看護師
(西2病棟)

- ① 処置などを行っているときに「上手だね」と言われると嬉しいです。
- ② 患者さんに親身になって寄り添っていたり、豊富で正確な知識を持って看護を提供している先輩を見て、私もそうなれるよう頑張りたいと思います。

高橋 菜月さん



准看護師
(東2病棟)

- ① 「無理しないでね」等の労いの言葉かけがあることで心が救われ頑張ろうという気持ちになれるため嬉しいです。
- ② 忙しい状況でも声をかけ合い迅速な対応をとる姿を尊敬しています。

和泉 亘さん



理学療法士

- ① 頑張っているときに、「頑張ってるね」と言ってもらえると嬉しいです。
- ② 先輩方の判断やリハビリに対する考え方がとても参考になります。自分も先輩方のような理学療法士になれるように頑張ります。

赤津 弥生さん



看護助手
(西3病棟)

- ① 私は母に、楽しい職場だと言われて入職しました。ケアワーカーの仕事は大変ですがやりがいを感じています。忙しいときにありがとと言われると嬉しいです。
- ② 私も先輩みたいに自分で仕事を探せるように頑張りたいです。



村上 幸大さん



介護員
(1病棟)

- ① 頑張っているときに「応援しているよ」と言ってもらえるととても嬉しいです。
- ② 先輩を見て冷静に正確な対処をする姿を尊敬しているので、私もそうなれるように頑張りたいと思います。

今回は、今年度新入職員にインタビュー。次の2つの質問に答えていただきました!

① 頑張っているときに言われると嬉しい言葉や応援の言葉は何ですか?

② 先輩を見て、こうなりたいと感じる所作や立ち振る舞いは何ですか?



新入職員に聴きました

①「言われて嬉しい言葉は？」
②「先輩のどんなところに憧れる？」



谷口光志郎さん

理学療法士



- ①「その調子で頑張ろう」という応援の言葉をかけていただくと嬉しいです。
- ②先輩のどんな質問をされても正確に返答する姿をととても尊敬しているので私もそうなれるよう努力します！

伊藤 杏優さん

理学療法士



- ①頑張っているときに「応援してるね」と言ってもらえるととても嬉しいです！
- ②先輩が患者様に対して丁寧な対応や声かけをしている姿を尊敬しているので、私もそうなれるように頑張ります。

宗像 芙美さん

理学療法士



- ①頑張っているときに、「ありがとう」とお礼を言われるととても嬉しいです。
- ②私も先輩のように、患者様に寄り添いながら、その場に応じて冷静に判断し的確に対応できるよう頑張ります。

宮川 一輝さん

理学療法士



- ①リハビリ中に、「とても助かる」と患者様から言っていたくと嬉しいです。
- ②質問に対してエビデンスに則った回答をしていただくと頼りがいがあり、自分もこうなりたいと思います。

松崎 美幸さん

理学療法士



- ①頑張っているときに言われると嬉しい言葉は「イイじゃん！」です。
- ②患者さんに寄り添い、退院後の生活を考えてリハビリを行っている姿を尊敬しているので私もそうなれるように頑張ります。

馬場 健誠さん

理学療法士



- ①出来なかったことが出来るようになったときの先輩からの素直な誉め言葉や患者様からの感謝の言葉が嬉しいです。
- ②多職種の方との専門的な話をしているときや患者様に体の構造やアプローチをしている理由を分かりやすく説明している姿に憧れます。

渡邊 熙之さん

作業療法士



- ①頑張っているときに「頑張れ」と声をかけていただくととても元気がでます。
- ②先輩方の、患者様の状態に合わせた介入や、積み重ねてきた知識や技術等、心から尊敬しています。私もそうなれるよう頑張ります。

土屋 倫子さん

作業療法士



- ①頑張っているときに言われて嬉しい言葉は「やるやん！」です。
- ②諸先輩方を見ていると全てにおいて安心感を覚えるため、私も患者様にとっても周囲の見ている人にとっても安心感を持たせるリハをしていきたいと思っています。

遠藤 未悠さん

作業療法士



- ①私にとっての誉め言葉は「できるよ」です。自信が無いときに言われると認めてもらっている感じがして自信がついてきます。
- ②先輩を見ていると患者様との信頼関係が構築されているなど感じます。私も信頼関係築きます！

関根 佑樹さん

理学療法士



- ①頑張っているときに「成長したね」と言われると嬉しいです。
- ②患者様から信頼され、冷静に対応する先輩の姿を見て自分もこうなりたいと感じました。

水野 夏さん

栄養士



- ①頑張っているときに「完璧だね」と言われるととても嬉しいです。
- ②何事も素早く完璧にこなす先輩方を本当に尊敬しています。私もそうなれるよう一つの仕事をしっかり頑張っていきたいです。

奥山 耀大さん

栄養士



- ①「作業が前よりも早くなったね」と言われると頑張れます。
- ②急な食出しにも柔軟に素早く冷静に対応する姿を尊敬しているので、私もそうなれるように頑張りたいです。

阿部 百華さん

栄養士



- ①頑張っているときに「すごい」と言ってくださるととても嬉しいし、もっと頑張ろうと思えます！
- ②先輩方が優しく丁寧に教えてくださる姿やテキパキ仕事をしている姿を尊敬しているので、私もそんなように頑張ります！

武田 亜美さん

社会福祉士



- ①頑張っているときに「大丈夫？不安なことない？」と心配してくれると嬉しいです。
- ②患者様の退院後の生活が安心できるように親身に、一生懸命に相談に乗っている姿に憧れます！

水野 希実さん

事務職 (広報企画室)



- ①「良い感じだね」と言いただけるととても嬉しいです！
- ②私は先輩の、誰に対しても丁寧に物腰が柔らかいところを尊敬しています。私も常に笑顔で、話しかけられやすい人になりたいです！

大平 華乃さん

調理師



- ①頑張っているときにストレートに「頑張ってるね」と言われるのが一番うれしいです。
- ②先輩はテキパキと正確に作業しているので、私もそうできるように頑張りたいです。



MAY 10, 2024

「看護の日イベント」と「喫茶いとち」を開催!



Nursing Day



Cafe itochi

5月10日(金)に外来待合室にて「看護の日イベント」といとちプロジェクトのコミュニティカフェ「喫茶いとち」を同時に開催しました。イベントにご参加いただきありがとうございました!

Nursing Day

看護の日イベント



今年は、血圧測定や健康相談、栄養相談、認知症予防レシピの紹介、手洗いチェッカーを用いた清潔な手洗い方法を体験できるコーナーを準備しました。

看護師と管理栄養士が健康バランスの良い食事のアドバイスや手洗い方法の実践を通して清潔な手洗いの重要性を伝えました。

参加した方から「手洗いの仕方など改めて見直す良い機会になった。」との感想をいただきました。

info!

看護の日は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されています。看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけになればと当院でも看護の日に合わせてイベントを毎年開催しています。

Cafe itochi

喫茶いとち



院内で少しでもホットとできる場所や時間を作れたら…との思いから、会計や薬待ちの外来患者さん向けに無料でコーヒーやお茶、紅茶などをふるまう喫茶いとちを始めました。

今回、看護の日イベント限定でバリスタ経験のあるいとちスタッフが豆を挽き本格的なコーヒーを提供しました。

利用した方からは「待ち時間においしいコーヒーをいただけるのはありがたい。コーヒーの良い香りが院内に広がりリラックス効果もある。」との声もいただき嬉しい限りです。

info!

いとちプロジェクトとは、かしま病院が運営する医療と地域、「い」と「ち」の担い手たちによるコミュニティデザインプロジェクトです。さまざまな活動を通じて、医療と地域の「あいだ」を耕し、よりよい鹿島地区を目指しています。

肺がん治療の診療連携 診療科間の「コミュニケーション」の大切さ

Sさんは、2年前の正月ごろから咳が目立つようになりました。4月には痰に血が混ざるようになり近くのNクリニックを受診されました。レントゲン写真で右肺に大きなしこりが映っており精密検査を目的に当科に紹介になりました。喀痰の細胞の検査で癌細胞が確認されました。

両側の肺にも小さな転移巣があり、手術で治せる時期を越えています。しかし、近年の肺癌治療の進歩は目ざましいので、まだ諦めてはいけません。ちょっと苦しいですが、気管支鏡検査を受けて貰いました。右肺上葉気管支の入口が癌で塞がっていました。出血していました。安全に癌組織を一部かじり採り検査に回すことが出来ました。

大細胞癌という珍しいタイプの肺癌でしたが、癌細胞の75%以上が免疫チェックポイント阻害剤という薬が効きそうであることがわかりました。MRI検査で脳に転移が2箇所見つかりました。まずはM病院にお願いして、2泊3日の入院でガンマナイフによる放射線治療を受けて貰いました。

その後当院に入院され、免疫チェックポイント阻害剤の点滴治療を開始しました。30分間点滴をするだけでして、これを3週間に1回やるだけです。副作用もほとんどありませんでした。2回目からは外来通院で点滴を続けました。

5コース目くらいまでは順調に癌が小さくなりました。しかし、その後再び増大しまして、20コース目頃には最初の大ささに戻ってしまいました。ここで、副作用が強くなる抗癌剤に変更する治療法を提案しま



したが、Sさんは、医療関係者であったせい、強い抗癌剤は希望されず、今までの薬の継続を希望されました。癌の大きさは一進一退でしたが、その間、奥様と青森や東京にトレッキングを楽しまれたりしたそうです。23コース目を予定していた直前に、自宅で転倒され、右上腕骨と右大腿骨の骨折をおこし救急車でA病院に搬入されました。手術が必要だろうとのことでA病院に運ばれたそうです。整形外科のO先生から、今までの治療経過についての照会が当科にありましたので、急いで情報提供書をFAXしました。A病院には仲良くしている呼吸器内科の先生もいるので、2つの科で相談しながら治療してもらえらるなら安心だと思っていました。

ところが、呼吸器科に相談されることはなかったよう、上腕骨と大腿骨の手術をされ、術後は歩行できるよとにトリハビリを計画されました。1ヶ月半経過した頃、今後のリハビリと肺がんの治療を目的に当科に転院されました。しかし、癌の転移が原因の骨折でしたので、当院では歩行訓練すら困難で、痛みをコントロールするためモルヒネの内服を開始しました。その後1ヶ月半で旅立たれるまで、痛みはよくコントロールされました。

亡くなられた後、紹介元のNクリニックと、手術でお世話になったA病院のO先生に報告書を送りました。A病院では、手術の是非も含めて呼吸器科の先生と相談され、その後の治療を協同で行っていただいたほうが患者さんにはよかったですのではないかと、いろいろ事情があったのでしよう。肺癌の進行と予後を考慮しないで、腕と脚の手術を受けたことがよかったのか、今でも悩んでいます。

(呼吸器科部長 山根喜男)



ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医療成への挑戦 ～

第172回 超高齢者の診療の現状と課題

石井敦 病院長



超高齢社会に突入した今の日本では、ただ人口が減っているだけでなく、若者が減り、高齢者の比率が急増しています。地域に目を向けると、隣組のような社会的助け合いが残る地域でも、若くて元気な近所さんがあまりおらず、後期高齢者の方が老体に鞭打って自治会を取りまとめている、高齢者同士が「どちらが先に倒れるか?」といった感じで、地域のクリーン活動などを行っている姿が見受けられます。

この社会問題に対して、一人ひとりの善意に頼っていくことにはかなり限界があるので、行政が介入し、医療・介護の社会化を進めていく必要があります。介護保険に関しては市町村が担っているため、ある程度、効率よく介護・福祉を提供できるようにするための施策は打ち出しやすいのですが、都道府県や保健所が担う医療に関しては、市町村は直接的には管轄外ですので、例えば在宅医療の実態を役所がほとんど把握していないということは珍しくありません。ですから、医療と介護・福祉の間には大きな溝があって、そこを埋めてうまくつながっている地域はよいのですが、

つながっていない地域は、これから本格化する超高齢社会を乗り切ることが非常に困難になるであろうことが予見されます。

我がいわき市はどうでしょうか? 私見を申し上げますと、いわき市は市と医師会・保健所や多職種団体などが頻りに交流し、地域包括ケアシステム構築のために日々活発な活動を続けています。この点においては「まだマシな方」なんだと思います。医療・介護従事者の極端な絶対数不足という大きな問題を抱えながらも、少数精鋭でどうにかやりくりできているのは、この連携の賜物だと思います。

これからの向こう十年間、否が応でも診療において看取りという役割が多くなっていきます。そんな中、老年医療や総合診療という視点をもって患者に関わる医師が増えることを期待しています。そうすれば、患者一医師間の深い信頼関係に基づいて、その方の生きざま、健康観、生活史のようなものを考慮しながら、人生の最終段階における生き方を、固有の要望に応じて支援できるでしょう。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



第159回

オーラルフレイル

高くなります。しかし、早めの対策で予防や改善ができ、健康寿命を延ばすことができます。

今回はお口のフレイル、すなわちオーラルフレイルと、簡単なチェック方法についてご紹介します。オーラルフレイルとは、会話がしづらいたことで人との交流が減ったり、食欲低下や食べ物の偏りに繋がったりして、全身のフレイルの危険を高めます。オーラルフレイルの始まりは、滑舌が悪くなる、食べこぼす、わずかにむせる、

み なさんは「フレイル」を知っていますか?フレイルとは、加齢とともに心と体の動きが弱くなってきた状態の事を指します。フレイルが進むと生活の自立が難しくなり、寝たきり状態のリスクが

口が乾くなどささいなものです。お口のささいな衰えは見逃しやすいので、普段から気にかけることが大切です。

では、オーラルフレイルを簡単にチェックしてみましょう。次の項目に当てはまる数が多いほど、オーラルフレイルの可能性が高くなります。

- ① 半年前に比べて硬いものが食べにくくなった
- ② お茶や汁物でむせることがある
- ③ 入れ歯を使用している
- ④ 口の渇きが気になる
- ⑤ 半年前に比べて外出が少なくなった



どうでしょうか?当てはまる項目はありましたか?当てはまった方も、当てはまらなかった方も、食後の歯磨きやお口の体操、定期的な歯科受診を受け、オーラルフレイルの予防に努めましょう。

言語聴覚士 佐藤凧紗

かしま荘通信

お神輿 来荘

5月3日(金)



5月3日(金)、鹿島久保地区のお神輿が来荘しました。神主様には養生会の安全と利用者様の健康長寿をご祈禱いただきました。子供会の皆さんがお賽銭箱を担いで利用者様のところを回り、利用者様はお賽銭を投げながら手を合わせておられました。

認定看護師による 勉強会のご案内



6月19日(水)18時より、感染管理認定看護師による勉強会を下記の通り開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

- 講師 感染管理認定看護師 木下 由美子
- 場所 かしま病院コミュニティホール
- 内容 ① 感染対策の基本について
② 個人防護服を正しく着用しよう
- 定員 20名程度
- 締切 6月15日(土)

